

Indonesia Weekly

2019年5月7日



(対象期間：2019/4/22～2019/5/3)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年5月3日)



【株式市場】

4月22日の週はジョコ大統領の2期目当選期待で上昇して始まりましたが、その後は国内投資家を中心に利益確定売りがみられ、上値の重い展開となりました。大手企業の決算が市場予想を下回ったことも嫌気されましたが、月末にかけては買戻しの動きもみられました。5月1日は休場となり、休場明けの市場では銀行株を中心に再び利益確定売りが進みました。ルピアが対米ドルで弱含んだことも嫌気され、対象期間で株式市場は下落となりました。

2019/4/18*	2019/5/3	変化率
6,507.22	6,319.46	-2.89%

*4月19日は祝日のため休場

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年5月3日)



【債券市場】

4月23日に行われた国債の入札結果が嫌気され、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、ルピアが対米ドルで弱含み外国人投資家を中心に売りが加速しました。インドネシア中央銀行（BI）は25日、市場の予想通り政策金利を6.0%で据え置き、声明文で今後も市場の安定を目指すとしていました。5月1日の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、米国の年内利下げ期待が後退したこともあり、ルピアは続落、10年国債利回りも上昇しました。

2019/4/18*	2019/5/3	変化幅
7.584	7.880	+0.296

*4月19日は祝日のため休場

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年5月3日)



【為替市場】

株式や債券市場で利益確定売りがみられたことや、FOMCで米国の年内利下げ観測が後退したことなどを背景に、ルピアは弱含みました。4月の消費者物価指数上昇率が市場予想を上回ったことも嫌気されました。また、配当支払などを背景とした実需の米ドル買いなどもみられ、ルピアは対円、対米ドルともに下落しました。

2019/4/19	2019/5/3	変化率
0.7976	0.7807	-2.12%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

